

NISSHA 株式会社
「2017年12月期第2四半期決算説明会・カンファレンス」
質疑応答の概要
(2017年11月8日開催)

Q1. 第2四半期(7-9月)の設備投資額、減価償却費、研究開発費の実績を教えてください。

A1. 下表の通り。

	第2四半期(7-9月)実績
設備投資額	約24.5億円
減価償却費	約23.5億円
研究開発費	約7.5億円

Q2. 第2四半期(7-9月)を振り返り、産業資材事業、ライフイノベーション事業、情報コミュニケーション事業のそれぞれを総括して欲しい。

A2. 産業資材事業は主力の自動車・蒸着紙分野を中心に業績は安定化しており、想定通りの進捗。ライフイノベーション事業の需要は堅調で想定通り、のれん償却後でも営業利益が確保できている。情報コミュニケーション事業については需要が弱く想定を下回った。

Q3. デバイス事業の10-12月の見通しはどうか？

A3. 対象市場の特性から製品需要について見通すのは難しい、短期的な変動も大きい点をご理解いただきたい。利益面では第2四半期(7-9月)は急激な需要増に対応するための費用が増加したが、10-12月は第2四半期(7-9月)に比べ歩留率が改善することによって収益性が向上する見通し。

Q4. Lens Technology との生産提携でデバイス事業が狙う市場は？

A4. 当社が手がけるフィルムタッチセンサーは今後も需要の拡大が見込まれる。ITデバイスに加え、中期的には自動車や産業機器向けなどでも事業機会が広がると考える。

以上